一日十七時間勞働

松島炭坑の監獄部屋

逃亡した一青年坑夫の話

例の北海道監獄部屋問題から當局は之等の非人道的炭坑業者を徹底的に檢擧すべく目下警視十七名、警部二百十名、巡査二千四百五十名を北海道各地に配置して警戒して居るが茲に長崎縣高島から逃亡して來たと云ふ福岡縣生れの一青年坑夫は門司に到着して北海道にあらぬ九州而も長崎の松島炭坑でさへ矢張り監獄部屋同樣の虐待を受けて居る事を語つた其談に曰く

△私は　名古屋市大須觀音の島田と云ふ周旋人の手で松島炭坑の坑夫となつて行つた所其虐待は世間の想像以上で毎日未明から夜は十時頃迄一日十六七時間は恰かも牛馬のやうにコキ使はれて居た若しも仕事をしない時は巡査や憲兵上りの人繰りが天秤棒や鞭を以てヒツ叩き食事は魚のやうなものは見た事もなく時々牛肉の

△骨の　入つた味噌汁をアテがはれるのが一番の御馳走である坑夫の中には逃亡兵や破獄囚が大部分を占め中には資産家のノラクラ息子の成れの果てもある逃亡兵の或る者の如きは何故兵營を逃げたのだらうと前非を後悔し自ら憲兵隊に自己の在家を知らして逮捕方を哀願した者もある程で部屋から

△外出　する事は絶對に禁ぜられ又若し一歩でも逃げ出さうものなら極力捜査され捕まつたら最後前述の人繰りが寄つて集つて皆への見せしめたと半殺しの酷い目に逢はせるので一人として逃げ出す者もなく全く此の世からなる地獄と云ふ有樣である云々

門司紹介所に來る

軍縮影響求職者

本月中旬からポツ〳〵

將校は人を介して事務員を＝歸休兵は勞働＝馬丁上りは何でもよい

小倉市役所の職業紹介部では去る六月末開設以來取扱つた紹介件數は求職約三百、求人約二百、内就職の成立したのが

約百口　で相當成績を擧げて居る而して八月下旬頃には求職者が一般に增加し一昨廿九日の如きは十七名が前後して押しかけて掛書記も面喰らつた程である、中には夫婦、親子連でやつて來るが妻や子の方が早く就職が出來て夫や老人の親が中々職を得難い、女中拂底はこゝにも見られ目下求女中の申出が六十餘口もあるのに女中志願者がとんと來ないので

困り切　つて居る、更に軍縮關係から軍人上りの求職者が出來た、軍縮實行の本月中旬から特務曹長三名、歸休兵二十一名、馬丁上り八名がやつて來た、尉官以上の將校で自分には一寸出來ないので人を介して就職口を申出で居る向きもあるが是等將校准士官級は事務員志願、歸休兵は勞働、馬丁上りは何でもよいとの申出だが將校と馬丁上りとの就職口は仲々見付からない相である